

九州ジュニア選抜インドアソフトテニス大会に参加して

清流大川



息が白い



羽地中学校
学校だより 158号
せいりゅうおおかわ
H31. 1.15

S・Iさん M・Oさん
私達は、12月26日から始まる九州ジュニア選抜インドアソフトテニス競技大会 熊本大会に参加しました。大会には多くの中学生が参加していました。練習でもボールが早いし、短いボールへの反応も早く、どんなボールでも取る粘り強さを感じました。また、声も良く出ていて迫力がありました。

最初の試合では相手のペースにのまれて2ゲーム失いましたが、後半では落ち着いて、二人で作戦を考えて戦い勝つことができました。

技術について、他県の中学生はボールが深く相手手に攻撃されにくいプレイングをしていました。コースも上手くて、ボールもびびらず、きれいにコースに決めていく技術を持っていました。見習いたいです。

食事は、ご飯の量がとても多かったですが、美味しかったです。0℃〜2℃の寒さで風でも息が白く、とても寒かったです。

私は体幹が弱いと言われているので、体幹トレーニングで鍛えていきたいです。動かされた時でもフォームを崩さず、相手に厳しいボールが打てるよう頑張りたいです。長いボールを続けて打つ練習をしていきたい。

相手の後衛に簡単にボールを打ってコースを攻められないように、ボールを怖がらずに前衛で果敢に攻めていき



たいです。
ボレーを思ったコースに打てるように鍛えたい。

九州で得た目標を二人は勿論、女子部員全員で頑張っていく。また、九州以上にも出場できるように精進していきたい。



作者もかつては多くの物達に囲まれて生活していました。片付けができない家族と多くの物に押しつぶされそうに生きてきました。東日本大震災に見舞われ、物が凶器となり、本当に必要な避難物資が足りなかったそうです。

職場では、パワハラと残業の日々。やりがいのない仕事。片付けられなくて、友達を家に呼べない実家。疲れがとれない家と家族。

そんな作者が物の片付け方、家族との折り合いの付け方、物の整理術が詰まった一冊です。

物のない幸せ

わたしのうちには、なんにもない。

物を捨てるのが、そんなに苦しくない。

「なんにもないぶろく」 月間60万アクセス
コミックエッセイ 大人気。シリーズ
20万部突破!

衝撃でした。病気じゃないかとも思いました。捨てられない物もある。思い出の品とか。反面、何も無い部屋の清々しさ、美しさは分かりません。物が定位置にある美しさです。

何もないので掃除がしやすい、掃除の時間が早い、いつも綺麗。気持ちも軽い。

私達は、いろいろな物に囲まれて生活しています。その中には絶対に必要だと思っても壊れたら直して使います。直らなくても思い出の品は捨てるのに勇気がいります。また、物を捨てるということは、「物を大事にしない」という考え方もあります。

でも、果たしてそれで幸せなのでしょうか。

ゆるりまい